

What's up,
OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 89》2020年7月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【佐伯市 / 臼杵市】



(佐伯市)
元猿海岸



(佐伯市)
佐伯寿司



(臼杵市)
臼杵石仏



(臼杵市)
カボス

県拠点施設「dot.」が福岡市にオープンしました

県では6/2、多くの若者が集う福岡市大名に本県への就職を支援する施設「dot.(ドット)」を開設しました。主に大分県への就職支援を目的として、県出身の学生等を中心とした求職者へ県内企業の魅力を発信するとともに、県内企業とのマッチングを図ります。

コンセプトは、“ラフなコミュニティ形成の場”。キャリアや将来のヒントを見つけ、仲間や企業、様々な人とつながる、そんな人たちがあつまる場を目指しています。

自由に使える交流スペース、ゆったりくつろげるカフェスペースが併設されており、就職・移住相談のほか、企業と求職者が気軽に出会えるイベントやセミナー等を開催します。

学生の方や大分県出身者だけでなく、どなたでもお越しいただけるスペースです。dot. という名称には、『ここでの一つ一つの出会いや経験が、その時は小さな点(dot.)かもしれないが、それらがやがてはつながり、将来の大きな転機になるように』という思いが込められています。



外観と交流スペース

「dot.」公式サイト
: <https://dot247.jp/>

撮影: YASHIRO PHOTO OFFICE

海外から医療物資を寄贈いただきました

新型コロナウイルスの新たな感染者は、4/21以降県内では確認されていませんが、国内の収束は見通せない状況が続いています。そうした中、交流を続けている海外の関係者から医療物資を寄贈いただきました。

台北駐福岡経済文化弁事処より

5/21(木)、台北駐福岡経済文化弁事処より大分県議会日台友好議員連盟を通じて本県にマスク1万枚を寄贈頂くことになり、県庁で贈呈式が行われました。

大分県議会議員であり日華親善協会全国連合会 副会長でもある志村学議員が「県内の医療関係者の皆さんに使って頂ければ」と今回の寄贈について述べ、日台友好議員連盟 会長の麻生栄作議員が知事に目録を贈呈しました。広瀬知事は「貴重なマスクをご寄贈頂き誠にありがとうございます。大切に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



中国湖北省政府より

6/2(火)、交流を続けている中国湖北省政府から本県の新型コロナウイルス感染症対策の取組を支援するためとして、医療用マスク5千枚を寄贈いただきました。マスクが入っていた箱には、「山高水遠情無隔、一樹春風兩地芳(離れていても情に隔ては無く、春風が吹けば両地に芳しい香り立つ)」の詩が記されていました。

いただいたマスクは、県内医療機関に配布し、新型コロナウイルス感染症対策に活用していきます。

湖北省とは平成23年から交流を続けており、平成25年から毎年同省の自治体職員を研修生として迎え、中国人の国際交流員も平成24年から湖北省より受入れています。これまでに受入れた研修生と交流員はそれぞれ7名ずつになっています。



帰国時には、引き続き本県との交流の架け橋となってもらうため、めじろん海外サポーターに任命しています。新型コロナウイルス感染症の影響で両国の行き来ができない困難な状況が続いていますが、湖北省政府の温かい支援に感謝するとともに、収束後には一層交流を深めていきたいと思えます。

人口あたりの留学生数は全国トップクラス ～令和元年度外国人留学生の受入れ状況を公表～

6/19(金)、県は「2019年度外国人留学生在籍状況調査結果」を公表しました。県内短大・大学院を含む大学及び高等専門学校に在籍する留学生数は、世界93の国・地域から3,591名でした。この結果、人口10万人あたりの留学生数は、316.4人で、全国順位は京都府、東京都に続き第3位でした。

出身国別に学生数を見ると、1位 中国 769名、2位 韓国 703名、3位 インドネシア 413名、4位 ベトナム 395名、5位 タイ 259名などとなっています。また、立命館アジア太平洋大学の留学生は2,759名で、全国の大学別順位では第5位になっています。

(調査結果の詳細はこちら→<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/ryugakusei.html>)

新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイト収入等が減少し、生活が困難になっている留学生が就学を諦めず安心して学べるようにするため、「外国人留学生緊急支援事業」を実施しています。具体的には、①留学生への特別奨学金の支給(18万円/名×240名)、②特別貸付枠の創設(500万円)、③留学生に本県での留学の魅力等を母国に発信してもらう事業(1,400万円)です。留学生が学業に専念できるよう支援するとともに、留学先としての本県の魅力を発信していき、今後も留学生に選ばれる地域を目指していきます。

県内飲食店のクレジットカード導入の伸び率日本一

県では、年々増加する訪日外国人消費を確実に取り込むとともに、中小・小規模事業者の生産性向上に役立てることを目的に、県内のキャッシュレス化を推進しています。そのための取組として、県内商工団体や地域金融機関と連携し、平成30年1月から令和2年2月にかけて、事業者向け・消費者向けの説明会等を開催してきました。

その結果、県内飲食店におけるクレジットカード決済可能店舗の割合は、15.0%(H30年9月)から25.4%(令和2年3月)まで上昇し、期間中の伸び率が日本一となりました。全国順位も23位から6位になりました。

(詳細はこちら→<https://www.pref.oita.jp/soshiki/14300/cashless-status20200625.html>)



研修会の様子

県では引き続き、中小・小規模事業者の県内のキャッシュレス化の推進と令和2年9月から始まる新たな事業「マイナポイント」への対応を図るため、今後も市町村や商工団体等と連携してQRコード決済の統一規格「JPQR」の説明会を開催することとしています。

市町村からのお知らせ【中津市】

耶馬溪アクアパーク

山国川の上流、耶馬溪ダム湖にある「耶馬溪アクアパーク」。
一年を通して、水上スキー・ウェイクボード・バナナボート・湖面遊覧など、さまざまな水上アクティビティーが体験できます。また、水上スキー関連の国際大会の会場としても利用されています。この夏は、日本一の水上スポーツのゲレンデ「耶馬溪アクアパーク」を訪れてみてはいかがでしょうか。



絶景のアクアパークで遊ぼう！



▲2019日韓親善水上スキー・ウェイクボード選手権大会の様子



メイプル耶馬サイクリングロード

かつての耶馬溪鉄道の廃線跡を利用したメイプル耶馬サイクリングロード。
耶馬溪の景色を眺め、山国川の心地よい風を感じながら、レンタサイクルで寄り道しながらゆっくり走るのがおすすめです。

中津名物 ハモ

中津の夏に欠かせない味覚、ハモ。
夏のハモは水分を多く含み、脂肪分が少ないため、さっぱり上品な味を楽しめます。
ぜひ、中津でご賞味ください！



◀中津市の紹介動画を
チェック



ハモの湯引に梅肉を添えて食べると、暑さもスッキリ！

【中津市総合政策課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（6月）

※国際政策課にて新聞等を元を作成



九州初のムスリム墓地整備計画

別府市に近い日出町南畑の山中でイスラム教徒(ムスリム)向けの土葬墓地を整備する計画が進んでいます。火葬が一般的な日本では、土葬できる場所の確保は深刻な課題です。計画地は既に近くのキリスト教修道院で土葬が行われて

いることから適地と判断。日本では土葬は禁止されており、地域住民らと協議し町が許可を出せば九州発のムスリム墓地となります。現在県内のイスラム教徒は約千人。多くが留学生ですが日本国籍を取得した人も数十人います。



【6月27日】外国人労働者を支援 「いぬまるエール米」

中津市犬丸地区には自動車部品メーカーの工業団地があり外国人労働者が多く働いています。新型コロナウイルスの影響で労働日数が減り、生活に困窮している彼らを支援しようと犬丸自治会は約170名を対象に、一人につき1升(1.5キロ)分のお米を毎週日曜日に手渡す取り組

みを始めました。3ヶ月間、計12回続ける予定です。働く外国人はインドネシアやベトナムから来ている人が多いため、食文化で共通するお米での支援を決定。必要なお米約3トンは、自治会の予算のほか企業の協賛、家庭からの余剰分の提供を呼びかけて調達しています。

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。

OPAM（大分県立美術館）の開館5周年記念として、同館の設計者 坂茂の特別展が開催されていました。新型コロナウイルス感染症に油断できない状態は続いており、6月の終わりにOPAMに行ったときにも、全施設で唯一開放した出入口で警備員が非接触体温計で訪問者の体温を測っていました。



シェ シンラン
(Xie Xin Lan)

こういう光景を見ると無意識に肩に力が入ってしまいましたが、展示自体が面白く、行って本当に良かったと思いました。特に、東日本大震災や熊本地震で活用された「避難所用間仕切りシステム」や、ニュージーランドのカンタベリー地震で倒壊した大聖堂の代わりに建てられた「紙の教会」など、災害復興支援プロジェクトに深く心を動かされました。また、英語の解説パネルも用意されており、外国人にとっても親切だと思いました。気が付けば二時間以上も同じ展示を回って、ゆとりある時間を過ごせました。



県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

📧 話題提供のお願い！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:重石【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp